

## 府中市福祉計画（地域福祉・福祉のまちづくり推進）調査報告書の主な修正事項一覧

## 修正事項 1

報告書 94 ページから 97 ページ「問 30 府中市の地域福祉及び福祉のまちづくりへのご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください」について、まとめの方法、項目名を修正

修正前
⑧府中市の好きなところ、市政への感謝、激励など 18 件 ⑪景観、まちの緑化、美化に関すること 14 件 ⑬駐輪場、自転車利用に関すること 8 件 ⑰本調査に関すること 18 件
修正後
地域福祉及び福祉のまちづくりに直接関係しない内容のものを「⑬その他（地域福祉及び福祉のまちづくり以外に関する意見等） 58 件」としてまとめる。

修正前
⑦バリアフリー、ユニバーサルデザインに関すること 20 件 ⑩道路に関すること 14 件
修正後
⑦バリアフリー、ユニバーサルデザインに関することの内容の内容も、歩道の舗装状態等の改善など道路に関する内容が多いため、⑩道路に関することの内容とまとめ、②バリアフリー、ユニバーサルデザインに関することの内容 34 件に変更

修正前
⑯市の職員対応、窓口への要望 14 件
修正後
平日以外の相談窓口に関することや、直接窓口に行かなくても手続きができるようにという内容のため、項目名を⑨相談窓口等に関することに変更

修正前	
①防災に関すること	35件
②福祉施策等の考え方、要望など	29件
③福祉の意識に関すること	27件
④地域活動、近所づきあい、見守りに関すること	26件
⑤情報の入手に関すること	21件
⑥ちゅうバスなどの交通機関に関すること	20件
⑦バリアフリー、ユニバーサルデザインに関すること	20件
⑧府中市の好きなどころ、市政への感謝、激励など	18件
⑨子育て支援に関すること	17件
⑩道路に関すること	14件
⑪景観、まちの緑化、美化に関すること	14件
⑫高齢者福祉、介護保険サービスに関すること	13件
⑬駐輪場、自転車利用に関すること	8件
⑭健康、医療に関すること	5件
⑮その他の要望、提案など	26件
⑯市職員の対応、窓口への要望	14件
⑰本調査に関すること	18件
修正後	
①防災に関すること	35件
②バリアフリー、ユニバーサルデザインに関すること	34件
③福祉施策等の考え方など	29件
④福祉の意識に関すること	27件
⑤地域活動、近所づきあい、見守りに関すること	26件
⑥情報の入手に関すること	21件
⑦交通機関に関すること	20件
⑧子育て支援に関すること	17件
⑨相談窓口等に関すること	14件
⑩高齢者福祉、介護保険サービスに関すること	13件
⑪健康、医療に関すること	5件
⑫その他の要望、提案など	26件
⑬その他（地域福祉及び福祉のまちづくり以外に関する意見等）	58件

## 修正事項 2

報告書 98 ページから 101 ページ「1-2 調査結果からみた課題」について、根拠や課題を修正

### (1) 地域における支え合いの促進

修正前
・近隣で手助けできることは、どの年代でも「日常の見守りや声かけ」は5割を超える(問4)。
修正後
・「日常の見守りや声かけ」は、「近隣で手助けできること」及び「手助けしている又はしたこと」として最も多い。また、「手助けしてほしいこと」としても2番目に多い(問4)。

### (4) 福祉に関する情報提供の充実

修正前
※多様な手段による情報提供や福祉に関する情報提供の充実を図るとともに、相談窓口の周知を図る必要がある。
修正後
※福祉に関する情報の充実や多様な手段による情報の提供を図る必要がある。また、利用しやすい相談体制の整備を図るとともに、相談窓口の周知を図る必要がある。

### (5) 地域の防災体制の強化

修正前
※日ごろから防災を意識した地域における関係づくりを促進するとともに、物資の備蓄や住民同士の声かけや安否確認など、地域における災害対策の取組を促進する必要がある。
修正後
※災害時などの非常時における近隣での手助けについて、「手助けしてほしいこと」及び「手助けできること」の両方の回答が多い。日ごろから非常時を意識した地域における関係づくりが重要であり、住民同士の声かけや安否確認など、地域において非常時に対する具体的な取組を促進する必要がある。

### (6) 福祉のまちづくりの推進

修正前
※子どもたちから福祉教育や福祉に関する情報に触れる機会を増やすことでの心のバリアフリーを推進するだけでなく、わかりやすい案内標示や手話通訳の配置や音声ガイドなどによる情報のバリアフリー、障害物が取り除かれた歩道や道路などの物理的なバリアフリーをさらに推進する必要がある。
修正後
※市は福祉のまちづくりを推進するため、心のバリアフリー、情報のバリアフリー、制度

のバリアフリー及び物理的なバリアフリーに取り組んできたが、今後も子どもたちからの福祉教育や福祉に関する情報に触れる機会を増やすことでの心のバリアフリー、わかりやすい案内標示や手話通訳の配置や音声ガイドなどによる情報のバリアフリー、障害物が取り除かれた歩道や道路などの物理的なバリアフリー等に取り組むことで、更なる福祉のまちづくりの推進が必要である。